

校訓
勤 規 協
勞 律 調

新ステージへの旅立ちにあたり
二つお話したいと思います。
一つ目は、「つながりを大切にす
る」です。

未来は予測ができなくても、一日一日を自らの意志で全力で生き、不屈の精神でご活躍されることを願っています。

産業に就職したのだが、まな
で起こせば、二十代の頃は特
「勉強不足！」を思う存
社会に出てからは、職
てただでなく、社会人とし
力（の）不足を痛感させられ
念としては、やはりこうであ
だ勉強したつもりもあ
「充分」なんてことは
何を乗り越えても
先で様々な未知の世界が広
様々たる未知の世界が広
て、そしてそこでは、その時
しなかったいろいろな事にな
たっていく。しかしだからこ
子び続けなければいけない
まだ学ぶことができるし
たことではなく、社会経験
点にとりつく。これは何も
多くの方に賛同いただける
はいだらうか▼そして今後
今年この専門家が口にし
ング学び直し」も含め、「社
に「適応できる力」を得るた
に必要であると感じていま
者が生き残るのではなく、
（環境に適応した）者だけが
このことは、長い生物の進
委が既に証明している。様々
白から現在を解釈し、予測し
未来に対し準備、順応でき
今後の生きる力そのものにな
すだ！持論が先走ったこと
願いた。やはり、それで
強に勤しむ若者に言いたい。
、長い目と大局的な視点を
そこにある学びの機会の時
意味づけをしたうえで、最
出して欲しい。無駄な勉強
ない」ということを▼今は
かく言う私自身が、継続して
の大切さを体現できる人物
ために、果てlessly続く「学
を、生徒と共に歩き続けて

（東　史晋）

三年、または五年が経ちました。今日までの月日で何を感じたでしょうか。楽しいことと嬉しいことだけではなく、苦しいことも向き合ってきたはずです。学校生活の中でも大きな壁に直面し壁を乗り越える姿は、周囲の人に元気を与え、同時にその経験は自分自身のステータスになっていることでしょう。

私は先輩方の背中を追ってこの一年間過ごしてきましたが、真似できないことばかりでした。特に体育祭や文化祭への取り組みやアイディアは最高学年として迫力がありキラキラ輝いて真似することのできなかったのを鮮明に覚えています。そして何事にも全力で取り組む姿をみて自分たちを鼓舞してきました。私たちが在校生は、先輩方が出水中央高校生として誇りを持てるように日々、鍛錬しようとおもいます。

に 誓 感
回生六十六名は、仲間と互いに助け合い今日まで頑張ってきました。新型コロナウイルスの影響で様々

第45回出水中央高等学校戴帽式



ここまで乗り越えられたのは、先生方を始めとする指導者の方々の教えや、家族の支えがあったからです。これまで支えてくださったすべての方へ感謝し、この二年間で芽生えた責任感と向上心をもとに、思いやりの気持ちを持ち、患者様一人一人に寄り添うことができる看護師を目指します。

これからも四十

に努力していくことを誓います。力強い言葉を出席者に感動を与えました。



五回生全員で切磋琢磨し、ひたむきに

看護学科専門課程二年生は、二月十二日(日)、福岡県の九州共立大学で看護師国家試験を受験しました。新型コロナウイルス感染症の予防対策を行うための九州各県から多くの受験生が多数の受験会場に会し、緊張感漂う中で受験でした。

生徒達は学習に励んだ自分自身を信じて、「全員合格」を合い言葉に五時間

その日、五名の学生による感染予

副部長 土持	副部長 本田	○生活部長 久本	副部長 磯永	○厚生部長 倉田	副部長 横山	副部長 野田	○文化部長 照屋	副部長 西内	○體育部長 松崎	書記 大本	書記 野藤	監査 中尾	副會長 伊藤	○會長 齋藤	副會長 河野	副會長 藤口	副會長 寬和
虹花看護學科一年	有一普通課程一年	樹奈看護學科二年	萌々華看護學科二年	龍義医療福祉科一年	伶奈特進課程二年	乃愛教養課程一年	明穂教養課程二年	心愛看護學科一年	玲音教養課程一年	実匠看護學科二年	美貴音看護學科二年	優風医療福祉科二年	さくら特進課程一年	凌普通課程二年	特進課程二年	特進課程二年	特進課程二年

功を奏す

生徒会執行部は、本校の校訓である『協調』『規律』『勤労』を軸に活動しています。私たちは体育祭や文化祭をはじめとする学校行事は生徒全員の記憶に残る良い思い出となるように運営しようと思います。

また、校則は変えることができます。しかし、生徒の皆さんと先生方の信頼あつての校則変更です。そこで私たちは新たな試みに挑戦します。それは「文化祭や体育祭でスマホの使用を許可」です。功を奏するには皆さんの日頃の行いが大きく絡んできます。

生徒一丸となって素敵な学校行事を創り上げましょう。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

令和4年度 ボランティア活動

- ・6月▶緑の羽根共同募金 校内募金活動……………全校生徒
- ・10月▶西出水駅清掃奉仕作業……………肥薩おれんじ鉄道利用の生徒
- ・12月▶赤い羽根共同募金 校内募金活動……………全校生徒
- ・年間▶アイシティECOプロジェクト コンタクトレンズ空ケース回収活動……………全校生徒

今年度も生徒の皆さんのご協力により、円滑な活動を行うことができました。昨年度までは新型コロナウイルスの影響で思うように活動ができませんでしたが、今年度は3年ぶりに西出水駅清掃奉仕作業を行うことができました。毎日の通学で利用している肥薩おれんじ鉄道に、感謝の気持ちも含めて清掃活動に取り組めたことは、とても素晴らしいことだと感じました。



A group of students in white t-shirts are standing on a balcony, cheering and waving their hands. They are looking out over a large stadium filled with spectators. A large Coca-Cola sign is visible on the right side of the balcony.

来年度以降も、地域の方々との交流を深めるためにも少しずつ活動を増やしていき、奉仕の精神を育てていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

卒業・修了生の皆さんへ

普通科普通課程

担任 高橋 綾子

「優しさと思いやりを忘れずに」

やんちゃで元気な一年次、先輩としての自覚が芽生えて成長した二年次、最高学年としての責任を背負った三年次。素晴らしい成長を遂げた四十五名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

思い出せば、コロナの直撃を受けて入学直後からオンライン授業。その後学校行事は削除・縮小され、なかなかクラス全員が団結して取り組む機会に恵まれませんでしたね。男女間もよそよそしく、三年間仲良くやっていたのかと心配になったものです。しかし時間が経つにつれて徐々に距離は縮まり、普通課程らしいパワーは持ちつつも、一人一人が周囲を思いやり、その思いやりを言葉や行動で示すことができる、本当に優しい集団に成長してくれました。あなたたちの優しさを目に、耳にするたびに嬉しくなりました。

さて、就職する人はひと月後、進学する人も数年後は社会人として働き始めます。そんなあなた方にこの言葉を送りたいと思います。私は初任校で先輩の先生から次の言葉を頂きました。「教師は三十年、四十年やっても道半ば」「この言葉に驚いたあの日から、十年以上が過ぎました。過ぎる時間の中でこの言葉の意味は様々に変化してきましたが、結局は「初心を忘れず、謙虚であれ」という意味で言われたのだろうと、私なりに解釈しています。これから皆さんは自分の選んだ進路先へと新たな一歩を踏み出します。あなた方の最大の魅力と武器は、優しく素直であること。その姿勢を忘れず、社会に飛び出してから素直で優しい心をなくさず、「初心を忘れず、謙虚でいてください」。

それぞれが素晴らしい人生を送ってくれることを心から願っています。



普通科教養課程

担任 片山 涼

「仮想現実」

VR(バーチャリアリティ)と呼んだ方が馴染み深いでしょうか?ゲーム

やネットの世界では、アバターを生み出し、気の合う仲間と集まって、リアル現実とは違う世界で行動する人もいます。コロナがさらに拍車をかけ、これからの新しい技術が登場するのかもしれない、という考え方があります。目から脳に送られる視覚情報は、まず脳内で色や動きなどの特徴ごとに分解され、その後、バラバラになった情報を脳内で組み立てて映像化しているのです。つまり、私たちは「脳が作り上げた映像」を目の前の現実だと信じて生活を送っており、同じ場所と同じものを見たとしても、自分と他人が同じ映像を見ている保証はどこにもないということです。こんなことに怯えながら日々を過ごしている人はいないと思いますが、多様性が叫ばれる現代には興味深い考え方です。



「普通は○○だ」や「○○するのが当たり前だ」など、他人を高圧的に批評したがる人の発言は、経験則にのみ基づく判断がほとんどです。脳や神経における「見る」「注意する」「記憶する」などの情報処理の方法は、人によって異なるため、「こうあるべきだ」と断定するとはずしです。無論、公共マナーを守り、他人に迷惑をかけることとはとても大切なことです。完璧な人間など存在しないからこそ、互いの弱さを補い、多様性を認め合いながら生きていく力は、これからの時代を担うみなさんには必要不可欠な能力です。仮想世界とは必要不可欠な良い意味でリアルを疑いながら生活していくと、まわりの人への自然な配慮ができるのではないのでしょうか? みなさんそれぞれが秘めている素豊かな人間力が、今後の人生で輝くことを心から願っています。ご卒業おめでとうございます。

普通科特進課程 一組

担任 坂元 佑佳

「ともに学び、ともに成長していこう」

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、今日この日を迎えられることを心よりお祝い申し上げます。

対面で授業が開始されたのは入学式の数ヶ月後、多くの行事が変更や中止となり、担任としても戸惑いを感じる日々でした。しかし、みんなが友だちと楽しんで生活をする様子を見るとうれし気持ちになりました。この三年間、一人も欠けることなく無事に全員

が卒業を迎えられるのも、保護者の皆様のお力と生徒みんなの互いに思いやる気持ちがあったからだと思います。本日にあたりとうとう卒業しました。普段から「今ある状況が当たり前と感ぜてはいけない」と話をしてきました。第四次産業革命と呼ばれる急速な技術革新とグローバル化の進展、少子高齢化と人口バランスの進展、私たちの前に今までの常識では予測不可能な未来として立ちほだかっています。この時代に対応するためには、柔軟な発想で新しいことにチャレンジし、これまで自分を超越していくことが必要です。社会も変化しますが、自分をとりまき環境も同時に変化します。私自身、この三年間とても大きな変化を感じた日々でした。そして同時に様々なことを考え、自問自答する日々でした。成長とは、慣れ親しんだ状況から新しい領域へと移り変わることで、居心地のよい場所から、知らない世界に足を踏み入れると不安やある種の不快が生じます。過去に体験していた人は「自分は今成長しているんだ」と思い、この変化を伴う成長をした経験のない人は役に立つものではないと決めつけその学びを捨ててしまっている。「学び」とは気持ちのいい、居心地のよいものばかりではありません。気持ちのいい学びで安心してしまう、それでは本当の成長は得られないのではないのでしょうか。

失敗を恐れず、多くの経験からたくさん学ぶことを学んでください。そして最後に、心から応援してくれる人たちがいることを忘れないでください。さあ、将来を自分自身の手で切り開いていく新たな生活が始まります。どんな人ともなれば自分たち次第です。常に学ぶ気持ちを忘れず、ともに成長していきましょう。



普通科特進課程 二組

担任 今出水 泰志

「贈る言葉」

高校卒業おめでとうございます。私はときどき特進館三階廊下の窓から矢張り眺めます。この山は山頂のときに部活動の練習で二度ほど山頂まで登ったことがあります。中学校から歩いて往復しました。二度とも晴れていたような気がしますが、何月だったのかは覚えていません。道中チームメイトと話をしている筈ですが、内容は全く覚えていません。山頂には○○があったことは覚えていますが、そこからは眺める景色の記憶はありません。往復後とても疲れたと思うのですが、どうやって家まで帰ったのかは覚えていません。最初に「二度」と書きま



医療福祉科

担任 望月 香織

「日進月歩」

卒業おめでとうございます。人生の岐路に立った今、未来の生活に心躍らせていた、逆に不安を抱えたりしていた、逆になんか抱え歩んできたこれまでの道のりを振り返り、そして、今ここに在ることを考える、いろいろな思いが込み上げてくることでしょう。この三年間は、「今できる最善のこととは何か?」「何ができたのだろうか?」を考え続けた三年だったと思います。今まで経験したことのない出来事に直面しましたが、翻弄され過ぎないようじっくりと腰を据え、自分を見つめるきっかけになったのかなと思います。さて、表題にある「日進月歩」は、クラスで考えた目標です。もどかしい気持ちを抱え、立ち止まることもあったと思いますが、日々進歩する三年間でした。医療福祉科では、座学や校内実習以外にも、本来は校外実習が中心ですが、残念ながら実習先へ出向くことが叶いませんでした。それでもオンラインを活用しながら担当の利用者様と接することや、得られた情報等からじっくりと考えをめぐらせることを通して、介護や福祉の学びを深めることができた。介護の理念を念頭に、介護過程を展開するみなさんの姿が印象的でした。まさに、「今できることは何か?」を考えることができたのではないのでしょうか? これから生きていく過程においては、取捨選択の連続です。自身について今できる最善のことは何かを考えること

したが、一度きりだったかもしれない。特別すごいことをしたとは思いません。思い出したところで特別な感情が溢れる経験でもないというところは分かっています。三年担任のときにだけ行うことにしています。皆さんも同じような景色を複数持っていると思いますが、特進での経験と関連のある景色を一つ一つ追加してもらえたら、少しだけ嬉しいです。皆さんのこれからの活躍を願っています。



看護学科基礎課程 一組

担任 井脇 恵美

「積み重ねで得たもの」

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様へお祝い申し上げます。この日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。コロナ禍のもとの入学から三年、通常であれば沢山の楽しい行事や式典を経験するはずが様々な行事が縮小され残念な思いをしながら、同じ目標を持つ者同士、切磋琢磨してきた三年でした。とても明るく活発であり、正しいことをみんな実践するその誠実さには感心しました。楽しい事は全員で取り組み、誰一人欠けることなく協力し、悲しみ苦しむ者には誰かが気付き声をかけていました。



そんな皆さんには、様々な場面面で前を向く、ポジティブに考える、逃げない」と話しをすることが多くありました。この三年間はこれまでに想像もできなかった環境での活動を強いられてきた。気持ちの沈むこともあったと思いますが、しかし、そこから学ぶものも多くありました。みなさんは、何を学んだと感じているのでしょうか? 私もオンライン授業をするための資料作りや授業の工夫について考え、学校に登校できない時間でも学校を楽しむ様なことが出来たのか考えるなど学業と学校生活共に楽しめる工夫を考える日々でした。あえて、ポジティブに考えるとするならば、オンライン授業も、長期の自

宅待機も、克服できる方法があったからこその両立できたのだと思います。生徒、教職員ともに学業と学校生活を全力で楽しみたいと思っていたから継続して来られたのだと思います。これから更に学びを深めていく皆さんへ、この経験から得られた目標を達成するための工夫や努力の積み重ね、友とのための大切さを忘れずにいて欲しいと思います。大切な時間を一緒に乗り越えたからこそ得られた多くの物を大切にしてください。みなさんと共に過ごせて幸せでした。皆さんの愛と笑顔がありがとうございます。

看護学科基礎課程 二組

担任 田中 善男

「贈る言葉」

三年二組のみなさん、御卒業、おめでとうございます。今、どんな気持ちで卒業式や学校新聞を読んでいますか? 私は、二年間あるいは一年間、担任として、みなさんと看護の勉強を共に学んできました。色々な思いがよみがえってきています。桜の綺麗な春、厳しく暑い夏、落ち葉に彩られた秋、鶴の舞う寒い冬、そして再び光あふれる春を迎えようとしています。



クラス全体としては、「明るく元気のクラスで、全員で行事に全力で参加できた、コロナの影響で色々な制限や行事等の中止などあり、大変な基礎課程時代でした。それでも、クラス全員で力強く精一杯乗り越えたと思います。今後、専門課程に進級されても、今の気持ちと自分の原点である「立派な看護師になる」「病める人を看護したい」とこの気持ちを持ち続けて下さい。最後に「不断の努力」と「日々の自己研鑽」を忘れず頑張ってください。教員生活三十六年間で最高のクラスでした。

看護学科専門課程 一組

担任 中野 圭一郎

「自信を持って前に進め」

専門課程二年一組の皆さん、修了おめでとうございます。振り返ると五年間の月日はとても短いものだったと感じているのではないかと思います。多くの行事は新型コロナウイルス感染症でなくなりました。それでも、四十二回生それぞれが絆を深め合った

五年間だったと思います。昨年の四月に担任となり、もう修了式。手のかかる生徒が多いクラスでした。笑。それ以上に、一人一人は素直で誠実でした。最後まで本当に頑張りました。本音を言えば今日の別れはとても寂しい。ですが、晴れの修了の日、笑顔で送り出そうと思います。皆さんは四月からいよいよ看護師としての道を歩み始めます。保健師や助産師を志す生徒もいます。「看護の道は険しい」とよく言われますが、喜びややりがいも多く感じる道でもあります。時には悲しみや苦しさを覚えることもあるかもしれませんが、もう看護学生ではなく「プロフェッショナル」患者さんへの前で涙を見せず、笑顔で安らぎと希望を与える人になってほしいと思います。そして、臨地実習で患者さんにかけて頂いた言葉「あなたがいてくれて良かった」、そう言われ続ける看護師・看護職になってください。気づいていきますか?皆さんの発する言葉を差し伸べる手は、患者さんやその家族を救う力をもう持っています。最後に、一年間本当にありがとうございました。これからも皆さんの成長を遠くから見守り、そしていつまでも応援していきます。大好きな生徒達よ、「自信をもって前に進め」。



看護学科専門課程 二組

担任 蘭川 さとみ

「これから自分自身の花を咲かせてください」

修了おめでとうございます。皆さんにとって出水中央高校での五年間はどんな日々でしたか? コロナと共に過ごした五年間でした。成人年齢の引き下げにより、「成人」という位置づけで大人の仲間入りを果たしたことは、つい先日のようですね。何をすることも「感染予防対策」が前提で、多くの行事が縮小され、中止になったことで悲しい思いをしました。それでも、力を合わせて今できる最大限のことに取り組んでいる姿は、遅く、頼もしくもありました。何事にも一生懸命に真摯に向き合う皆さんの姿は、コロナと共に生活するべくこの時代には、一職業人としての素質や力を感じ、微笑ましいものでした。と同時に、皆さんは自分の中に我慢や努力、協力で培った多くのつぼみを育てていきましたね。



修了を機に、新たな力強いスタートを切ってくれることを期待しています。皆さんへの感謝の気持ちを胸にこれからも応援しています。

卒業クラスの副担任

普通科普通課程	河野 恵一郎
普通科教養課程	池袋 弘
普通科特進課程	一組 宅間 弘太郎
	二組 河野 道昭
医療福祉科	柏木 絹代
看護学科基礎課程	川口 あかり
看護学科専門課程	一組 藤川 睦子
	二組 筒井 宏子

男子駅伝部

2度目の都大路
全国32位

3度目の正直への近道はない



大会でした。

すでに第七十四回・十二月二十四日に向けた戦いは始まっています。残された時間は長いようで短いです。「八位入賞」という目標の実現に向けて日々のトレーニングを積み上げていきたいと思えます」との言葉は頼もしいが、監督と選手が進む道が決して平坦ではないことを考えると、応援する側としても身の引き締まる思いがした。

「バスケットボールの神様」とも称されるマイケル・ジョーダンには「目標を達成するには、全力で取り組む以外に方法はない。そこに近道はない」と言った。そして、こうも言った。「自分に期待することではじめて物事は可能になる」。

「自分達にはきつとできる。自分達だからこそできる」と言い聞かせる一方で、「遠回りをして遅れをとっているのではないか」と目に見えぬ不安に押しつぶされそうになる。そんなときこそ、己を鼓舞し、互いに励まし合えることが欠かせない。日々の練習に真剣に取り組んだ先輩たちが築いた道はあるが、先輩たちを越える近道はない。

目標を掌中に収めるために走り続ける道はいつだって、長く、険しい。怯まず進む後輩たちを、これからも応援していきたい。強豪ひしめく冬の都大路で、持てる力を全て出し尽くして駆け抜ける彼らの雄姿を、三度、十二月に見てみたい。



放送部九州大会に出場して

今年度創部二年目の放送部は、部員六名で活動してきた。体育祭や文化祭、清掃時のアウンスなど学校生活におけるサポート役としての活動である。日々地道な練習を行っている。

昨年十一月の放送コンテスト県大会には、一・二年生の三名が出場。一年生の横山文乃さん(特進課程)が九州大会への出場権を獲得した。県大会で入賞する常連校は各校もある。出場の際には二日間勝負。表現力が音声で評価されるが、何回、何十回同じ文章を読んでも全く同じ表現はできない難しさがある。それだけに九州大会出場は、今後の活動に明るい光が見えた思いである。

十二月九日(十一日)、九州大会は佐賀県で開催され、各県のすばらしい演技に接することができた。本番前夜は鹿児島県の合同練習会、当日は練習場で各県の出場者と音声を聞き合いつつ切磋琢磨する機会も得た。入賞することはできなかったが、今回の経験や学びは今後の



「第44回九州高校放送コンテスト」に出場の横山さん(右)と指導者の松山教諭(左)

に必ず生かされるだろうと期待している。そして、今回の九州大会への切符は、志をもつ練習に励む仲間と引退後も気遣い後輩へ声をかけ続けてくれた三年生部員の支えによって得られたものである。歴史は浅いが生徒たちの心に結ばれている絆がこれからの放送部の歴史を築きあげてくれることを願っている。

吹奏楽部 出水演奏会を終えて

今年度の吹奏楽部の活動は、コロナ禍のため思うようにはできませんでした。幸いにも定期演奏会、予定通り三会場四公演を多くの皆様のご援助で無事に開催が出来て良かったと思っております。

三年ぶりに一般の方々をお迎えした演奏会でした。部員の皆さんは、定期演奏会へ向けて新型コロナウイルス感染症防止のために限られた条件の中でよく頑張ったと思います。演奏・演技に必死に練習を行い、当日はご来場の皆様に感動・感激をご提供できたのではないかと思っています。

特に、三年生は高校に入学して初めての一般の方々の前で演奏・演技でした。その意味で今年度の定期演奏会には非常に意義深い演奏会になりました。地元「出水公演」の二日間開催は三年ぶり、夜間公演も三年ぶりでした。その上、「伊佐公演」と「水俣公演」は七年振りの公演でした。久し振りに地元出水をはじめ、伊佐・水俣の三会場共に、本校吹奏楽部の演奏を聴きに



みにされている様子が伝わってきました。開催に当たりましては、各会場のコロナ感染防止対策の条件等に配慮しました。「伊佐公演」では入場者五百名に制限されていましたが、各会場共に、入場時には、検温・手消毒、常時マスク着用、後方の扉は常時開放、途中休憩・換気の時間を二回設定しました。途中休憩の時間に特設のアンサンブル演奏を行った会場もありました。入場出来なかった方々のために、学園ご当局のご配慮で、昨年同様YouTubeライブ配信をして頂きました。今年のYouTubeライブ配信は、カメラ十台の映像から画面展開の良し立派な画像で吹奏楽の醍醐味が配信されたものと思われ、最後は、保護者会をはじめ、学園ご当局の絶大なご配慮と職員の方々のご協力のおかげです。ありがとうございました。心から感謝を申し上げます。これからもどうぞよろしく願ひ申し上げます。

編集後記

卒業・修了式をメインとして取り上げた「出水中央高校新聞」一五五号を発行するにあたり、原稿や写真を寄せてくださった皆様に、心より御礼申し上げます。新たな世界に向けて飛び立つ者がいます。出水の地に根を張って踏み張り続ける者もいます。生徒たちの揺るぎない決意や懸命に元気を奮い出す姿が届けられていて嬉しそうです。

六月、十月、三月と年に三回本紙は発行されています。全校生徒の活躍や縁の下の方の力持ちである保護者や教職員の姿を余すところなく掲載出来たらと思いつきながら編集を続けてきました。

令和4年度部活動大会報告

駅伝部 ●第21回九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会(9月2日 国東市) 総合12位(全26チーム) 西本穂乃香 1区 区間5位 森 紫乃 2区 区間5位 ●ナンチク杯・県ロードリレー2022 in 大崎(10月16日 大崎町) 総合優勝 西本穂乃香 1区 区間1位 森 紫乃 2区 区間1位 松本あかね 3区 区間1位 住友 琴音 4区 区間1位 東 咲希 5区 区間2位 ●第36回鹿児島県高校駅伝競走大会(11月2日 指宿市) 総合5位 西本穂乃香 1区 区間2位 森 紫乃 2区 区間3位 松本あかね 3区 区間5位 東 咲希 4区 区間5位 住友 琴音 5区 区間6位 ●鹿児島県高等学校新人陸上競技大会(9月14日～16日 鹿児島市) 1,500m 3位 松尾 和真 5,000m 1位 飯田 翔大 3,000mSC 3位 大磯 翔平 ●全九州高等学校新人陸上競技大会(10月14日～16日 佐賀市) 5,000m 4位 坂田 創史 8位 飯田 翔大 ●第73回鹿児島県高等学校駅伝競走大会(10月12日 指宿市) 1位 区間賞 1区 飯田 翔大 2区 松尾 和真 4区 池田 結菜 5区 清水喜一郎 7区 西川 結人 ●全九州高等学校駅伝競走大会(11月19日 指宿市) 10位 陸上部 ●第77回鹿児島県陸上選手権大会(7月2～3日) 女子 800m 住友 琴音 7位 女子 1,500m 森 紫乃 5位 女子 1,500m 西本穂乃香 6位 女子 3,000m 西本穂乃香 4位 女子 3,000m 森 紫乃 5位 ●北薩地区陸上競技大会(11月8日) 女子 800m 1位 藤本 亜依 女子 800m 2位 上野莉々華 女子 1,500m 1位 西本穂乃香 女子 1,500m 2位 森 紫乃 女子 3,000m 1位 西本穂乃香 女子 3,000m 2位 森 紫乃 吹奏楽部 ●第28回日本管楽合奏コンテスト高等学校B部門 全国大会(10月30日) 優秀賞・特別賞「フォトライフ賞」・指揮者賞	野球部 ●令和4年度秋季北薩地区高等学校野球大会(8/18・23) 1回戦 本校 10×-3 川内商工高等学校(勝利) 準決勝 本校 3-4 れいめい高等学校(敗退) ●第151回九州高等学校野球選手権鹿児島大会(9/21・28) 1回戦 本校 7-6 鹿児島工業高等学校(勝利) 2回戦 本校 1-7 鹿屋農業高等学校(敗退) ●令和4年度1年生大会北薩地区予選(10/9・15) 1回戦 本校 12-5 川内商工高等学校(勝利) 代表決定戦 本校 1-11x れいめい高等学校(敗退) ソフトボール部 ●令和4年度北薩地区秋季ソフトボール大会(9月27日) 本校 6-6 川内高校 本校 19-1 川内商工高校 優勝 ●第41回鹿児島県高等学校新人女子ソフトボール大会(10月29日) 1回戦 本校 15-5 尚志館高校 2回戦 本校 1-9 鹿児島女子高校 ●令和4年度霧島市総合女子秋季ソフトボール大会(11月23日) 【予選】本校 4-2 REVISE(社会人チーム) 本校 2-2 ひまわり(社会人チーム) 【準決勝】本校 11-3 尚志館高校 【決勝】本校 7-6 REVISE 優勝 男子バスケットボール部 ●第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会(鹿児島県予選) 10月15日 【1回戦】本校(不戦勝) 鹿児島城西 【2回戦】本校 57-94 出水工業 ※2回戦敗退 ●令和4年度北薩地区高等学校バスケットボール大会(11月11・12日) 【予選リーグ】本校 61-97 川内商工 本校 25-187 れいめい 【順位決定戦(予選3・4位パート)】 本校 58-72 薩摩中央・出水工業 合同 本校 50-31 鶴翔 ※8チーム中7位 女子バスケットボール部 ●第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会(鹿児島県予選) 10月15日 【2回戦】本校 33-69 国分 ※2回戦敗退 ●令和4年度北薩地区高等学校バスケットボール大会(11月11・12日) 【予選リーグ】本校 16-170 れいめい 本校 47-66 野田女子 【順位決定戦(予選3位パート)】 本校 31-58 出水・出水工業・出水商業・薩摩中央 合同 ※6チーム中6位 手話部 ●第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園(7月28・29日) 大会への出場なし(予選敗退)	サッカー部 ●県トップリーグ1部リーグ 9月17日 本校 1-1 鹿児島実業高校 10月1日 本校 1-2 鹿児島2nd 10月9日 本校 6-0 松陽高校 10月15日 本校 5-2 鹿児島ユナイテッドユース 11月20日 本校 0-1 鹿児島城西高校 11月23日 本校 3-3 れいめい高校 ●県トップリーグ2部リーグ 9月10日 本校 4-3 樟南高校 9月11日 本校 2-1 鹿実2nd 9月23日 本校 4-0 尚志館高校 9月24日 本校 1-2 鹿児島商高校 10月1日 本校 0-1 鹿実2nd 10月10日 本校 1-0 鹿屋中央高校 10月15日 本校 5-2 神村3rd 11月13日 本校 2-0 鹿児島中央高校 11月20日 本校 0-8 城西next ●第101回全国高校サッカー選手権鹿児島県大会 10/31,11/1,11/4,11/11 1回戦 本校 1-0 樟南高校 2回戦 本校 8-1 指宿商業高校 準々決勝 本校 0-0 PK4-2 鹿児島情報高校 準決勝 本校 0-2 神村学園 ●北薩地区秋季サッカー大会(11月15,16日) 予選リーグ 本校 7-0 川内商工高校 本校 5-0 川内高校 準決勝 本校 3-1 出水商業高校 決勝 本校 1-0 れいめい高校 男子バレーボール部 ●令和4年度 第75回鹿児島県高等学校バレーボール競技大会(5/28) 本校 0対2 錦江湾 ●令和4年度 川薩地区秋季バレーボール大会(9/20～30) 本校 2対0 出水 本校 0対2 川内商工 本校 0対2 薩摩中央 本校 2対0 出水 ●第74回全日本バレーボール高等学校選手権 鹿児島県代表決定戦(11/4) 本校 0対2 鶴丸 女子バレーボール部 ●令和4年度 第75回鹿児島県高等学校バレーボール競技大会(5/28) 本校 0対2 錦江湾 ●令和4年度 川薩地区秋季バレーボール大会(9/29～30) 本校 0対2 川内商工 本校 0対2 出水商業 本校 0対2 川内 本校 2対0 川薩清修館 ●第74回全日本バレーボール高等学校選手権 鹿児島県代表決定戦(11/4) 本校 0対2 沖永良部	柔道部 ●令和4年度 鹿児島県高等学校新人柔道大会 【男子団体戦】10/27 本校 2対3 鹿児島商業…惜敗 【個人戦】10/28 女子52kg 庵地 小花(看護1年) × 対 ○(鹿児島情報) 男子66kg 柿本 隆幸(教養2年) ○ 対 (ラサル) × 対 (鹿児島情報) 内園田 要(教養2年) × 対 (れいめい) 堂園 龍義(福祉1年) ○ 対 (ラサル) × 対 (鹿児島情報) ●第44回 肥薩対抗大会(柔道大会報告) 11月6日 水俣市武道館 幼年部から一般までの団体戦(今回は全体で34試合) 今回高校男子と高校女子で、以下の二人が優秀選手賞としてメダルをいただきました。 柿本 隆幸(L2) 庵地 小花(N1) バドミントン部 ●令和4年度 北薩地区高等学校秋季バドミントン大会(9月29～30日) 【男子団体戦】予選落ち 対 薩摩中央 × 対 川内C ○ 【男子ダブルス】浦・柏木組 1回戦敗退 山田・宗岡組 1回戦敗退 橋ノ口・苺平組 2回戦敗退 佐藤・床次組 2回戦敗退 【男子シングルス】1年の部 3位 佐藤高太郎 【女子シングルス】1年の部 優勝 平野舞 ●第55回鹿児島県高等学校新人バドミントン競技会(女子)(10月26日～28日) 【団体戦】出水中央 対 樟南(2対3) 初戦敗退 【個人戦ダブルス】 1回戦 大浦・平 対 明桜館ペア 敗退 宮下・坂井 対 鶴丸ペア 敗退 2回戦 土持・大野 対 明桜館ペア 3回戦進出(シード) 3回戦 土持・大野 対 鹿児島女子 敗退 【個人戦シングルス】 2回戦 平野 対 指宿商業 敗退(シード) 土持 対 錦江湾 敗退(シード) ●第55回鹿児島県高等学校新人バドミントン競技会(男子)(10月31日～11月2日) 【団体戦】初戦敗退 対錦江湾 【個人戦ダブルス】 2回戦敗退 浦・佐藤組 対 鹿児島南 苺平・橋ノ口組 対 薩摩中央 【個人戦シングルス】 2回戦敗退 浦 対 鹿児島中央 柏木(志) 対 鹿屋工業	卓球部 ●2023年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部)県予選 9/10～9/11 【女子ダブルス】花岡・白梅 準々決勝進出 【女子シングルス】花岡 3回戦進出 白梅 2回戦進出 【ジュニア女子シングルス】花岡 準々決勝進出 白梅 3回戦進出 児玉 初戦突破ならず 梶原 初戦突破ならず ●令和4年度北薩地区高等学校秋季卓球大会 9/27～9/28 【女子学校対抗】3-1 川内 3-1 川内商工 ※優勝 【女子ダブルス】花岡・白梅 ※優勝 児玉・荒木 準決勝進出 ※第3位 【女子シングルス】花岡 決勝進出 ※優勝 白梅 決勝進出 ※準優勝 児玉 準決勝進出 ※第3位 荒木 梶原 予選リーグ通過ならず ●第56回鹿児島県高等学校新人卓球競技大会 11/3～11/5 【女子学校対抗】ベスト4～全九州高等学校新人卓球選手権大会出場 決勝トーナメント1勝2敗 ※第3位 【女子ダブルス】花岡・白梅 準々決勝進出 ※ベスト8 児玉・荒木 3回戦進出 【女子シングルス】花岡 準々決勝進出 ※ベスト8 白梅 5回戦進出 児玉・荒木 4回戦進出 梶原 3回戦進出 ●第77回全九州卓球選手権大会(一般の部)県予選会 11/23 【女子ダブルス】花岡・白梅 決勝進出 ※第2位 【女子シングルス】花岡 3回戦進出 ※ベスト16 白梅 初戦突破ならず 花岡・白梅は全九州選手権(3/10～12・熊本市)に出場 ●第56回全九州高等学校新人卓球選手権大会 12/16～18 【女子学校対抗】Bブロック予選リーグIVパート 3-0 那覇(沖縄) 3-1 都城泉ヶ丘(宮崎) 3-0 大分南(大分) 7・8位決定戦 1回戦 2-3 宗像(福岡) 放送部 ●第44回九州放送コンテスト 鹿児島県予選大会(11/10) 【朗読部門】L2 尾崎 暁 S1-2 横山 文乃 ※優良賞 S1-2 竹林 大輝 以上、3名出場 ※横山 文乃 九州大会出場権獲得
---	---	--	--	---